

**障がい者相談支援センターからの報告（令和 4 年度第 1 回）**

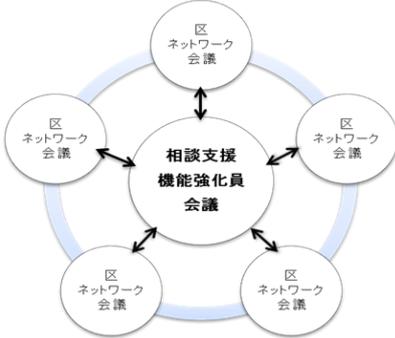
**1 相談支援機能強化員会議**

**（1）目的**

熊本市障がい者相談支援センター（9 カ所）間の各区にまたがる情報共有や市全体としての対応の整合性を図る場として、各センターの相談支援機能強化員が集まる会議を毎月 1 回開催するもの。

**（2）内容**

- ・ 各区障がい福祉ネットワーク会議の進捗状況
- ・ 対応困難ケースへの対応、情報共有
- ・ 各種会議の出席状況、内容の共有
- ・ 市からの説明・報告事項



**（3）令和 3 年度の取組実績**

① 各区障がい福祉ネットワーク会議の進捗状況

<目的>区内での相談支援の充実に向けた円滑な連携協力体制の確立

<構成>障がい者相談支援センター、各区福祉課及び保健子ども課  
 指定特定相談支援事業所、その他の関係機関等

| 区   | 回数 | 内容  |
|-----|----|---|
| 中央区 | 4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管内医療機関と相談支援事業所の情報交換と連携体制の構築</li> <li>・ ストレスとセルフケアについて</li> <li>・ 事例検討会</li> </ul>  |
| 東区  | 6  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例検討（訪問看護との連携など）</li> <li>・ 支援ケース検討（アイデアセッション、課題セッションなど）</li> <li>・ 地域情報、地域生活支援拠点等についての共有</li> </ul>                                   |
| 西区  | 4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童事業所フィールドワーク報告会</li> <li>・ 事例検討（地域における障がい理解を考えるケース）</li> </ul>  |
| 南区  | 4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「事業所紹介シート」を活用した関係機関・団体の PR</li> <li>・ 「日常生活自立支援事業や生活福祉貸付事業」と「熊本市南生活自立支援センターの機能」の説明</li> <li>・ 児童発達支援事業につながるまで～つながった後の支援について</li> </ul> |
| 北区  | 4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍における地域課題の抽出（グループワーク）</li> <li>・ コロナ禍での支援でうまくいった事例の共有</li> <li>・ 障がい者相談支援センターの地域支援員について</li> </ul>                                  |

② 対応困難ケースへの対応、情報共有

- ・児童相談所との連携について（指定特定事業所からの相談）
- ・各区の支給決定期間の長期化について
- ・ヘルパー支援を受けられないケースについて
- ・障がい当事者の家族支援について
- ・高齢者の母と障がい者の子が同居するケースについて
- ・障害福祉サービスの利用のない方への対応
- ・短期入所、日中一時支援の事業所が少ない など

③ その他

- ・センター研修会の開催（モニタリング結果の共有及び改善事項の検討）
- ・地域生活支援拠点等の整備について（緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場の確保）
- ・医療的ケア児等コーディネーターの役割
- ・熊本市成年後見支援センターについて
- ・新型コロナウイルス感染症に関連する事項への対応 など

**（４）令和４年度の取組予定**

① 各区障がい福祉ネットワーク会議

中央区、西区、南区、北区は４回、東区は６回開催予定。

② 検討議題（予定）

- ・相談支援体制（計画相談の受入調整、セルフプランの検討等）について
- ・関係機関との意見交換、情報共有
- ・ピアサポートの展開について
- ・地域生活支援拠点等の整備について
- ・センターのモニタリング結果の振り返り ほか

## 2 地域支援員会議

### (1) 目的

障がい者相談支援センターの各圏域で実施している地域支援事業における内容の整合性、各区にまたがる情報共有等を図るため、各センターの地域支援員が集まる会議を毎月1回開催するもの。

### (2) 内容

- ・各圏域における事業の進捗状況・情報共有
- ・事業の進め方における意見交換
- ・班活動（地域資源班、研修班）
- ・市からの説明・報告事項

### (3) 令和3年度の実績

#### ① 各圏域における事業の進捗状況・情報共有（抜粋）

##### ア 関係機関とのネットワークの構築及び連携

- ・ささえりあ（地域包括支援センター）との情報交換、連携会議、研修等
- ・生活支援コーディネーター連絡会への出席
- ・校区民生委員児童委員協議会への出席
- ・校区自治会長会議への参加
- ・まちづくりセンターとの情報交換、連携会議への参加

##### イ アウトリーチの実施

- ・ささえりあからの依頼によるケース対応
- ・区役所保健子ども課や保護課からの依頼によるケース対応

##### ウ 社会資源の情報収集や共有化、開発等

- ・福祉サービス事業所、相談支援事業所、ささえりあ、まちづくりセンターへのアンケート調査

##### エ 地域における障がい者等への理解促進

- ・小学校、中学校、高校、大学での障がい者サポーター研修等の実施
- ・認知症サポーター養成講座との共同開催
- ・地域への広報紙の発行

##### オ 災害時における障がい者等の支援体制の構築

- ・ケース防災支援（マイタイムライン等の確認：西区）
- ・防災訓練への参加

② 班活動

内容別に2班に分かれて、それぞれの班で作業実施。

○ 地域資源班

- ・ 地域資源一覧の作成
- ・ KP5000「住まいプラグ」の活用の検討

○ 研修班

- ・ 子ども向けのサポーター研修の資料作成
- ・ 障がいの特性についての動画作成

(4) 令和4年度取組予定

① 各圏域における事業の進捗状況・情報共有

令和3年度に引き続き、各圏域の活動状況について情報共有を図っていく。

② 班活動

○ 地域資源班

- ・ 実践的な社会資源マップ作成
- ・ KP5000「住まいプラグ」の活用の検討

○ 研修班

- ・ 子ども向けのサポーター研修の資料作成
- ・ 障がいの特性についての動画作成

③ その他

- ・ 障がい者相談支援センターの紹介動画の作成
- ・ 障がい者サポーターハンドブックの見直し           ほか